



|              |                                                                                     |
|--------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| Title        | 言語文化学 Vol.7 言語文化研究科修士学位論文題目                                                         |
| Author(s)    |                                                                                     |
| Citation     | 大阪大学言語文化学. 1998, 7, p. 244-246                                                      |
| Version Type | VoR                                                                                 |
| URL          | <a href="https://hdl.handle.net/11094/78082">https://hdl.handle.net/11094/78082</a> |
| rights       |                                                                                     |
| Note         |                                                                                     |

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

## 言語文化研究科修士学位論文題目

以下は、平成9年度の大阪大学大学院言語文化研究科博士前期課程修了者の氏名および修士論文の題目である。

伊藤 浩治

Henry Sweet 以後の英文法文典における「文構造の単位」の記述に関する  
一考察 ― 節を中心として ―

井村 誠

A Cognitive Approach to English Vocabulary Learning  
～ Making Sense: Meaning into Meaningfulness ～

小原知枝子

イスラエルのウルバンにおけるヘブライ言語文化教育

末弘 美樹

異文化接触とアイデンティティの危機  
― 英語圏における日本人留学生に関する一考察 ―

菅原 慶乃

1980年代中国の「文化熱（文化フィーヴァー）」  
― 国民文化論とナショナリズムをめぐって ―

鈴木 佳奈

話題がとぎれるときに生じる「沈黙」の回避および修復行動  
― 相互行為における言語・非言語行動と対人関係とのかかわりあいについての一考察 ―

関口 英里

現代日本における外来祝祭受容のメカニズム  
― アメリカとの比較文化的観点から捉えたクリスマス・バレンタインデーとハロウィン ―

谷口 未希

韓国語母語話者の日本語習得における音声の変異について  
― 単語・文・会話レベルでの音声の生成 ―

徳原由美子

在日朝鮮人をめぐる教育

— 大阪市生野区の A 小学校を事例として —

中谷 聡子

日本語におけるフォーカスの知覚

納谷 節夫

ニーチェのダーウィニズム批判

納谷 淑恵

Potentiality of Using E-mail in EFL Classroom

— A Case Study of Writing Communicative English in Upper Secondary School in Japan —

間 晶子

日本語教育教科書における登場人物の一考察

林 宏子

エイズ言説の中のジェンダー

～エイズ報道のジェンダー分析～

松本 力

日本語の統語境界上における F<sub>0</sub> とポーズのふるまい

矢加部 桜

Les prépositions “de” et “par” dans la phrase passive

アデ・ミルザンディ

日本のテレビにおける東南アジアの文化のイメージ

～インドネシアに関する番組の考察～

ガブリーロワ・マリーヤ

戦後の日本社会と教育

— 日本における教育改革：国際化をめぐって —

徐 毓瑩

音象徴の日中比較研究

— オノマトペの子音を中心に —

張 修慎

植民地台湾の知識人研究

— 主として台湾文学における知識人意識の変容 —

林 煒煌

日中両国語における可能表現の対照研究

— 翻譯の実際から —

飯田 英里

相づちの性差対照研究

河本 雅一

条件表現と理由表現の比較

— 日本語の階層構造を用いて —

田島 昭洋

シューベルトのリートについて

— 歌詞と旋律との有機的合一 —

村上 純

韓国における日本大衆文化の「開放」をめぐる諸問題

～ソウルオリンピック（1988 年）以降を中心に～

肖 梅洁

『細雪』における関西の地域性

— 色彩表現を中心に —